

# 発達検査体制整備支援事業

令和7年度予算額  
355百万円

## 1.目的

- 誰もが安心して発達検査を受けられる体制を整備するため、検査体制の充実を図る区市町村に対して支援を行うとともに、医療機関の初診待機解消に係る経費の補助や保護者への情報提供を実施する。

## 2.事業概要

- 発達障害児の検査に関する実態調査結果（中間報告）で明らかになった①早期発見・早期診断による待機期間の解消、②検査や相談に携わる人材の育成・確保、③発達障害の知識や相談先等に関する情報提供・普及啓発の課題解決に向けて、以下の施策を実施する。

事項	内容	R7実施状況
区市町村発達検査体制充実支援事業 (210百万円)	・検査体制の充実、事前相談や検査後のフォロー、医療機関との連携・調整に係る人員配置等の体制整備を行う区市町村へ補助 ・補助基準額…最大20,000千円（児童人口に応じて異なる） ・補助率…都1/2、区市町村1/2	33自治体 127百万円
医療機関初診待機解消事業 (96.7百万円)	・発達障害のアセスメント（検査）が可能な職員を配置する医療機関へ補助 ・補助率…医療機関へ10/10補助	33医療機関 119百万円
都民向け普及啓発事業 (8.7百万円)	・保護者等向けに発達障害に係る知識や発達検査の目的、相談先等を記載した小冊子を作成・配布	今年度内作成
デジタル技術を活用した発達障害児支援 (40百万円)	・デジタル技術を活用した発達障害児への支援手法の調査（①）を行うとともに、区市町村が実施するデジタルツール等を活用した発達障害児支援に要する経費を補助（②） ・補助率…都10/10	①今年度内実施 ②1自治体 7百万円

※そのほか、区市町村向け発達障害者相談支援研修や医療機関等向け講習会で発達検査に係る人材育成を実施

## 都民向け普及啓発事業～発達障害デジタルハンドブック～（現時点案）

### ～表紙&内容～

#### ○表紙タイトル

「まずは知ってほしい わたしたちのこと  
～子供の成長と発達が気になったら読むガイドブック～」

○ターゲットとしている保護者にも響く安心感と親しみを両立したイラストを起用

○子どもを複数掲載することで、様々な特徴を持った子どもがいることを表現

○スマートフォン/PC両方から閲覧可能

○発達障害の種類や相談の流れ、相談機関の紹介、よくあるQ A集等掲載し、読んだ方の理解促進を促す

